



日本史 B 問題

はじめに、これを読むこと。

(注意事項)

1. これは日本史Bの問題である。解答用紙が出願時に選択した科目であるかどうか確認のうえ、解答すること。
2. この問題用紙は17ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
3. 解答用紙の所定の欄に、必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験番号が正しいかどうか受験票と照合し確認すること。
5. 解答は、すべて「解答用紙」の解答欄に記入またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆又はシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入すること。
7. 訂正は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 文字は一点一画まで正確に書くこと。
10. 解答用紙は持ちかえらないこと。
11. この問題用紙は必ず持ちかえること。
12. 試験時間は60分である。
13. マークの記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の史料 A・B および表を読み、以下の設問に答えなさい。なお、適宜、旧漢字は新漢字に改めるとともに、句読点を付した。

史料 A

人々自ラ其身ヲ立テ、其産ヲ治メ、其業ヲ昌ニシテ、以テ其生ヲ遂ル所以ノモノハ他ナシ、身ヲ脩メ、智ヲ開キ、才芸ヲ長スルニヨルナリ。而テ其身ヲ脩メ、智ヲ開キ、才芸ヲ長スルハ学ニアラサレハ能ハス。是レ学校ノ設アル所以ニシテ、日用常行言語書算ヲ初メ士官農商百工技芸及ヒ法律政治天文医療等ニ至ル迄凡人ノ営ムトコロノ事学アラサルハナシ(中略) 従来学校ノ設アリテヨリ年ヲ歴ルコト久シト雖トモ、或ハ其道ヲ得サルヨリシテ、人其方向ヲ誤リ、学問ハ士人以上ノ事トシ、農工商及ヒ婦女子ニ至ツテハ之ヲ度外ニヲキ、学問ノ何物タルヲ弁セス、又士人以上ノ稀ニ学フ者モ動モスレハ国家ノ為ニスト唱へ、身ヲ立ルノ基タルヲ知ラスシテ、或ハ詞章記誦ノ末ニ趨リ、空理虚談ノ途ニ陥リ、其論高尚ニ似タリト雖トモ、之ヲ身ニ行ヒ事ニ施スコト能ハサルモノ少カラス。是即チ沿襲ノ習弊ニシテ、文明普ネカラス才芸ノ長セスシテ貧乏破産喪家ノ徒多キ所以ナリ。是故ニ人タルモノハ学ハスンハ有ヘカラス、之ヲ学フニハ宜シク其旨ヲ誤ルヘカラス。之ニ依テ今般文部省ニ於テ 1 ヲ定メ、追々教則ヲモ改正シ布告ニ及フヘキニツキ、自今以後、一般ノ人民 華士族農工商及婦女子必ス邑ニ不学ノ戸ナク、家ニ不学ノ人ナカラシメン事ヲ期ス。人ノ父兄タル者、宜シク此意ヲ体認シ、其愛育ノ情ヲ厚クシ、其子弟ヲシテ必ス学ニ従事セシメサルヘカラサルモノナリ。高上ノ学ニ至テハ其人ノ材能ニ任カスト雖トモ、幼童ノ子弟ハ男女ノ別ナク小学ニ従事セシメサルモノハ其父兄ノ越度タルヘキ事(後略)

(出典：法令全書)

史料 B

朕惟フニ、我カ皇祖皇宗国ヲ肇ムルコト宏遠ニ、徳ヲ樹ツルコト深厚ナリ。我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セルハ、此レ我カ国体ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦実ニ此ニ存ス。爾臣民、父母ニ孝ニ、兄弟ニ友ニ、夫婦相和シ、朋友相信シ、恭儉己レヲ持シ、博愛衆ニ及ホシ、学ヲ修メ、業ヲ習

ヒ、以テ智能ヲ啓発シ、徳器ヲ成就シ、進テ公益ヲ広メ、世務ヲ開キ、常ニ国憲(イ)ヲ重シ国法ニ遵ヒ、一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ、以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ。是ノ如キハ独リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス、又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顕彰スルニ足ラン。

斯ノ道ハ実ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ、子孫臣民ノ俱ニ遵守スヘキ所、之ヲ古今ニ通シテ謬ラス、之ヲ中外ニ施シテ悖ラス。朕爾臣民ト俱ニ拳々服膺シテ、咸其徳ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ。

明治二十三年十月三十日

御名 御璽
(ウ)

(出典：文部省『尋常小学修身書・巻1・教師用』)

表 小学校の学校数・教員数・児童数・就学歩合

年次	学校数	教員数	児童数	就学歩合(%)		
				男	女	計
明治 6(1873)	12,558	25,531	1,145,802	39.9	15.1	28.1
7(1874)	20,017	36,866	1,714,768	46.2	17.2	32.3
8(1875)	24,303	44,664	1,928,152	50.8	18.7	35.4
9(1876)	24,947	52,262	2,067,801	54.2	21.0	38.3
10(1877)	25,459	59,825	2,162,962	56.0	22.5	39.9
11(1878)	26,584	65,612	2,273,224	57.6	23.5	41.3
12(1879)	28,025	71,046	2,315,070	58.2	22.6	41.2

(出典) 海後宗臣・仲新『教科書でみる近代日本の教育』(東京書籍, 1979年)

(注) 就学歩合(%)の「計」は、男女全体の就学歩合を示している。

問 1 空欄

1

 に入る適切な語句を漢字で記しなさい。

問 2 史料Aの下線部(ア)は、当時の誰の学問論に立脚していたか。その人物の姓名を漢字で記しなさい。

問 3 史料Aの起草にあたっては、ある国の教育制度をモデルとしたが、その国はどこか。その国名を記しなさい。

問 4 史料Aと表から読み取れる教育の原則と実情を100字以内で述べなさい。

問 5 史料Bの史料名を記しなさい。

問 6 史料Bの下線部(イ)が記されたのは、 が迫り自由民権運動が再び活発化したことを背景としている。 に入る適切な語句を漢字で記しなさい。

問 7 史料Bの起草者には、熊本出身の官僚(法制局長官)が含まれていた。その人物の姓名を漢字で記しなさい。

問 8 史料Bに示された教育の理念は、 教育といわれている。 に入る適切な語句を漢字5字以内で記しなさい。

問 9 史料Bの下線部(ウ)の意味を記しなさい。

問10 史料Bの謄本は多くの学校に配布され、時には御真影とともに校舎内外の建物に収められた。この建物は何と呼ばれていたか。漢字で記しなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

鎌倉幕府の成立後、武士の勢力が全国各地で伸びていくにつれて、朝廷や貴族の反感は強まり、1221(承久3)年には後鳥羽上皇が北条義時追討の院宣を発して討幕の兵を起こした。しかしながら、幕府軍は1ヶ月足らずの間に上皇方を壊滅^(ア)させて京都を占領した。乱後、後鳥羽上皇は隠岐島に、は佐渡島に、土御門上皇は土佐国に配流されるとともに、幕府は上皇方についた貴族や武士の所領を没収して、功績のあった御家人をその地の地頭に任命した。この乱によって、朝廷に対する幕府の優位が確立した。

^(イ)このような背景のもとで、京都周辺の公家や僧侶は相対的に弱体化していった。かれらは学問分野で新しい思索を展開することなく、もっぱら古典の研究や有職故実の習得に従事していた。その一方で、公家によって独占されていた文化^(ウ)は武士や農民にも広まり、軍記物語の流行や絵巻物の発達などがみられた。さらに、建築や彫刻の分野においては、武家の素朴で剛健な性質が見られるようになった。^(エ)また、この時代には、政治的動乱によって生じた「末法の世」からの脱却を求めた民衆の切実な願いにこたえるために、新仏教が台頭した。^(オ)

鎌倉幕府の滅亡後、後醍醐天皇を中心とする公家政権が誕生するものの、この新政は短期間で崩壊し、1336(建武3)年には足利尊氏によって京都で室町幕府が樹立された。しかし、後醍醐天皇が京都を脱出して吉野にこもって皇位の正統性を主張したことから、以後60年近くにわたり京都の朝廷(北朝)と吉野の朝廷(南朝)が対立して抗争を続けた。この南北朝時代の動乱は、3代将軍足利義満のころに終息へ向かい、諸国の武士も幕府が派遣した守護の指揮下に組み入れられていった。

室町時代には、京都に幕府が置かれたことによって、武家文化が伝統的な公家文化と融合していった。また、当時急速に成長しつつあった惣村や都市の民衆の台頭を背景に、庶民生活に密着した芸能が盛んになった。^(キ)他方で、義満が積極的に推進した日明貿易を通じて多くの唐物や唐絵が流入し、大陸文化と伝統文化の融合が見られた。さらに、中央文化と地方文化、貴族文化と庶民文化などの広い交流も進み、今日、日本の伝統文化の代表とされる能・狂言・茶の湯・生花など^(ク)

の多くが、この時代に基盤を確立していった。とくに、義満の時代に様々な文化の融合が進んだ華麗な北山文化が形成され、その後、義政の時代に枯淡美に究極の芸術性を見出した東山文化が形成された。中でも、銀閣の下層などにみられる書院造は、東山文化の雰囲気をよく表しているといえる。

(三)

問 1 下線部(ア)について、この乱の処置を終えた北条泰時・時房は、その後も京都に残って朝廷の監視や洛中の治安維持、西国御家人の統轄にあたった。この役職は次のうちどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 京都大番役 B 京都守護 C 六波羅探題
D 武者所 E 西面の武士

問 2 下線部(イ)のような朝廷・貴族の衰退を冷静に観察して、歴史を貫く原理を探り、「道理」による歴史解釈を試みた書物は次のうちどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 愚管抄 B 吾妻鏡 C 正法眼蔵
D 元亨釈書 E 類聚神祇本源

問 3 下線部(ウ)について、空欄 1 の人物が著した有職故実の書で、朝廷の諸行事の次第や政務の進め方など全般にわたる作法が説かれているものは次のうちどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 職原抄 B 禁秘抄 C 梁塵秘抄
D 公事根源 E 世俗浅深秘抄

問 4 下線部(エ)について、写実的で力強く、たくましい造形を示す鎌倉新様式を打ち出して造仏界の主流となった慶派の作品として誤っているものは次のうちどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 蓮華王院千手観音坐像
- B 六波羅蜜寺空也上人像
- C 興福寺無著像
- D 東大寺南大門金剛力士像
- E 薬師寺僧形八幡神像

問 5 下線部(オ)について、鎌倉時代の仏教思想の説明として誤っているものは次のうちどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 親鸞は、ひとたび阿弥陀仏を信仰する気持ちをおこして念仏を唱えれば、ただちに極楽往生が約束されると説き、罪深い悪人こそ阿弥陀仏が救済しようとする対象であるという「悪人正機説」を立てた。
- B 法然は、極楽浄土に往生するためには、ただひたすらに南無阿弥陀仏を唱えればよいとして、念仏だけにすぎる「専修念仏の救い」を説いた。
- C 天台宗などの旧仏教は、貴族との結びつきを強めて権門化し、鎮護国家や貴族たちの現世利益のために仏に祈るものであった。
- D 日蓮は、仏法の神髄は「法華経」にあり、南無妙法蓮華経という題目を一心に唱えればそのまま仏になれるとして、法華経を中心に据えた国づくりを説いた。
- E 道元は、坐禅をくみ、師から与えられる公案を一つひとつ解決して、悟りに達することを説いた。

問 6 下線部(カ)について、伊勢神道の理論を背景に神代から後村上天皇即位までの歴史を記し、皇位継承における南朝の正統性を主張したのはだれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 北畠親房
- B 一条兼良
- C 宗良親王
- D 今川貞世
- E 度会家行

問 7 下線部(キ)について、この時代には和歌の上の句と下の句を別の人が交互に詠み連ねてゆく連歌が流行した。この連歌の方式と地位を確立した二条良基が編集した連歌集は次のうちどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 風姿花伝 B 菟玖波集 C 塵芥集
D 水無瀬三吟百韻 E 閑吟集

問 8 下線部(ク)について、関東では、15世紀中ごろに関東管領の上杉憲実が を再興し、全国から集まった禅僧や武士に対して高度な教育を施すとともに、多数の書籍収集も行った。空欄 にあてはまるものは次のうちどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 足利学校 B 和学講談所 C 聖堂学問所
D 公文所 E 金沢文庫

問 9 下線部(ケ)について、能楽師は寺社の保護を受けて座を結成し、神事祭礼奉仕の義務を負って能を演じていた。その代表的なものとしては、興福寺を本所とする大和猿楽四座があった。この中に含まれないものは次のうちどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 円満井座 B 外山座 C 結崎座
D 森田座 E 坂戸座

問10 下線部(コ)の説明としてあてはまらないものは次のうちどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 押板・棚・付書院という定型化された座敷飾りがある。
B 建物群を左右対称形に配置している。
C 代表的なものとして東求堂の同仁齋が挙げられる。
D 内部の間仕切としては、襖障子や明障子を用いている。
E 寝殿造を母体として徐々に発展的变化を遂げつつ完成した住宅様式である。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

江戸時代の幕府の財政収入は、御領(幕府直轄地)からの年貢のほか、主要鉱山からの収入、重要都市の商工業や貿易からの収入などから成り立っていた。

しかし、鉱山の採掘量の減少や年貢収入の停滞に伴い、家綱の代には非常用の備蓄金銀を使うほどの赤字となる。そこで、五代将軍の綱吉は御領の農政を見直すとともに、勘定吟味役の荻原重秀の上申を取り上げて、貨幣の改鑄や長崎貿易の拡大を行うことで財政再建をはかった。これらの政策により商人の力は高まり、上方を中心とした元禄文化が花開いた。

家宣・家継期には新井白石を中心として、正徳の治と呼ばれる政治が行われた。家継が8歳で死去すると、紀伊藩主であった吉宗が将軍となる。吉宗は将軍、大御所として幕政改革に取り組んだ。いわゆる享保の改革である。吉宗の諸政策により、御領の石高増など幕府財政に改善が見られた。

十代将軍家治の時代になると側用人から老中となった田沼意次が大きな権勢を誇った。貿易や商業を重視し、新田開発や蝦夷地探索が進められたが、天明の飢饉や田沼意知の暗殺を契機にその勢力は急速に衰えた。

家治の後に将軍となった家斉は、歴代将軍で最長となる約50年間在職し、その後も大御所として君臨した。家斉の政治は前期と後期で大きく異なっている。前期の代表的施策が老中首座の松平定信が主導した寛政の改革である。飢饉対策や米価調節などに奏功したが、儉約令や物価引き下げなどの統制の厳しさは商業や町人文化の不振を招いた。松平定信の失脚後も松平信明ら寛政の遺老によってその政策の多くはうけつがれた。

しかし、松平信明の死後、水野忠成が老中になると政策の方針は一変した。家斉治世後期の代表的政策である文政改鑄を財源とする拡張財政や奢侈の黙認は商品生産を刺激し、都市を中心に化政文化と呼ばれる町人文化が花開いた。その一方、物価の高騰は武士の困窮や農村の荒廃を招いたとされる。

天保期に入ると凶作が続き、天保の改革の失敗、欧米列強のアジア進出とも相まって時代は幕末・開港期へと向かっていった。

問 1 下線部(ア)に関連し、江戸中期(17世紀末)の御領、旗本知行地、全国総石高(御領・旗本知行地を含む)の組み合わせとして最も適切なものはどれか。

A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

	御領	旗本知行地	全国総石高
A	800万石	500万石	3000万石
B	400万石	300万石	3000万石
C	200万石	500万石	4000万石
D	800万石	500万石	2000万石
E	400万石	300万石	2000万石

問 2 下線部(イ)について、地名と産出鉱物の組み合わせとして誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 相川 — 金
- B 生野 — 銀
- C 足尾 — 銅
- D 釜石 — 鉄
- E 大森 — 硫黄

問 3 下線部(ウ)に関連し、江戸時代の貨幣に関する説明として誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 徳川家康は、1600(慶長5)年頃から慶長金銀を鑄造させ、貨幣制度を整備した。
- B 荻原重秀の主導の下、慶長小判よりも品位を下げた元禄小判を鑄造した。
- C 新井白石の主導の下、慶長小判とほぼ品位が等しい正徳小判を鑄造した。
- D 徳川吉宗は大岡忠相の上申により、享保小判より高品位の元文小判を鑄造させた。
- E 17世紀後半から、各藩では藩札を発行し、城下町を中心とする領内で流通させた。

問 4 下線部(エ)に関連して、江戸時代の商人に関する以下の記述として誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 江戸商人の三井家は酒造と大名貸によって財をなし、明治以降財閥に成長した。
- B 住友家は銅山開発と銅精錬などによって財をなし、明治以降財閥に成長した。
- C 江戸十組問屋は菱垣廻船問屋と提携し、物流に大きな影響力をもった。
- D 札差は蔵米を担保にした貸し付けを行い、旗本・御家人の財政を左右した。
- E 大坂では蔵元・掛屋とよばれる商人が蔵物の販売と管理・送金を行い財をなした。

問 5 下線部(オ)の政策・政治体制に関する記述として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 新井白石とともに側用人の柳沢吉保が大きな権勢を誇った。
- B 閑院宮家を創設して幕府と天皇家との結びつきを強めた。
- C 田畑永代売買禁止令と分地制限令を出し、百姓の生活の安定をはかった。
- D 儒学の普及のために、湯島聖堂をたて、林信篤を大学頭に任じた。
- E 株仲間の設立をすすめ、運上・冥加による財政の再建をはかった。

問 6 下線部(カ)に関する説明のうち、誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 裁判や刑の基準を定め、連座制を緩和した成文法である御定書百箇条を制定した。
- B 現物の米を使わない空米取引(米の先物取引)を公認した。
- C 問屋商人に株仲間の結成を願い出させ、独占的な営業を認めた。
- D 大名火消に加えて、定火消の制度を創設し、江戸における火災への備えを高めた。
- E 質流れ禁令を出したが、後に撤回し、質流れ地の売買が黙認されるようになった。

問 7 下線部(キ)の時期には、吉宗の実学奨励策から発展した蘭学はますますさかんになった。これに関連して、江戸中期の蘭学者に関する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 奥医師の桂川甫周は大黒屋光太夫の供述を基に『北槎聞略』を編述した。
- B 『蘭学階梯』の著者である大槻玄沢は江戸に芝蘭堂という蘭学塾を開いた。
- C 稲村三伯は緒方洪庵の協力を得て初の蘭日辞書『ハルマ和解』を著した。
- D オランダ通詞の志筑忠雄は天文・物理学書として『暦象新書』を訳出した。
- E 高橋至時は西洋暦法を取り入れて、寛政暦を作成した。

問 8 下線部(ク)で行われた政策として、正しいものをA～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 人返しの法を発し、天明の飢饉で荒廃した農村の再建をはかった。
- B 幕府財政の安定のため上知令を出して御領の増加をもくろんだが頓挫した。
- C 綱紀肅正を目的として、為永春水や柳亭種彦らを処罰した。
- D 無宿人の増加に対応するため、関東取締出役を設置して取り締まりに当たらせた。
- E 豪商を勘定所御用達として登用し、米価調節や町会所の運営に協力させた。

問 9 下線部(ケ)に関連して、江戸期の市場の場所と取引品目の組み合わせのうち、正しいものをA～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 神田 — 青物市
- B 雑喉場 — 織物市
- C 天満 — 蔵物市
- D 摂津天王寺 — 馬市
- E 日本橋 — 納屋物市

- 問10 下線部(コ)に関連し、幕末・開港期の経済状況・事件に関する記述のうち、誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。
- A 日米修好通商条約に基づき、神奈川・長崎・新潟・兵庫の開港と江戸・大坂の開市が決定した。幕府は次いでオランダ・ロシア・イギリス・フランスとも類似の条約を結んだ。
- B 主要輸出品である生糸の生産は拡大しマニュファクチュア化がすすんだが、生糸価格高騰は絹織物業を、輸入綿織物は綿作、綿糸・綿織物業を不振に追い込んだ。
- C 幕府は物流の統制のために、五品江戸廻送令を出して主要品目を産地から江戸に送るように命じたが、在郷商人などの反対のため、実効性は薄かった。
- D 日本国内の貨幣制度では海外に比べ金・銀ともに大幅に安かったため、外国商人による買い占めが発生し、巨額の金・銀が海外に流出することになった。
- E 開港に伴う経済的混乱に対応するため、幕府は万延改鋳を行うが、これによって物価の騰貴に拍車がかかり、庶民の不満と幕府外交への批判を高める結果となった。

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

ヨーロッパ列強は18世紀後半以降、原材料の確保と市場を求めて海外進出を進めた。彼らが日本近海にも出沒し始めたことから、いわゆる鎖国体制下にあった日本も対策を迫られることになった。江戸幕府は1785(天明5)年にはすでに千島列島の探査に乗り出していたが、1792(寛政4)年のロシア使節来航や1796(寛政8)年のイギリス船の蝦夷内浦湾来航などをきっかけにして、江戸や北方の防衛構想を具体的に練りはじめた。1798(寛政10)年には180人からなる蝦夷地調査隊を派遣し、翌1799(寛政11)年に東蝦夷地を直轄地としている。さらに19世紀初頭には全蝦夷地を幕府の直轄とし(のちに松前藩に還付)、松前奉行(当初は蝦夷奉行、箱館奉行)の支配下に置くとともに、間宮林蔵らに樺太から黒竜江下流にいたる地域を調査させた。

ヨーロッパ列強の世界進出は、19世紀に入って鉄道や蒸気船などの移動手段が発達したことで加速化した。そうした中で、江戸時代末期に開国した日本、とりわけ明治新政府にとって、今日と同じように多様な分野での「国際化」、「グローバル化」は不可避なものであった。西欧諸国だけではなく、近隣諸国との外交関係を構築することが急務とされた。

同時に日本の領土保全が志向された。その代表例として、ロシアや清国が朝鮮に影響力を及ぼす前に朝鮮半島を「利益線」として確保すべきだと、「主権線」を守るために「利益線」を保護すべきとの意見が唱えられたことが挙げられる。この考え方はその後の日本の基本的な方針となった。戦争によって領土を拡大させたことで主権線が拡張し、それに合わせて利益線も拡大する膨張路線がとられることになった。日清戦争、日露戦争、さらには第1次世界大戦を経て日本は領土や権益を拡大させたものの、第2次世界大戦の敗戦によってそれらを手放すことになった。

第2次世界大戦後、日本とアジア各国の関係正常化には多くの時間を要した。占領を脱して日本が独立することになる1951(昭和26)年のサンフランシスコ講和会議には、中華民国と中華人民共和国のどちらも招かれなかった。また

1

は講和会議への参加を望んだが日本との交戦国ではなかったとして招

請されなかった。

日韓基本条約が1965(昭和40)年に結ばれたが、それに先立つ1952(昭和27)年に、韓国がそれまでGHQ(連合国軍最高司令官総司令部)が定めていた境界に代^(カ)えて自国の主権が及ぶ水域を主張し、その後日本漁船の拿捕や日本人の抑留事件が数多く発生した。この問題は、1965(昭和40)年に日韓漁業協定が締結されたことで解決が図られた。中華人民共和国とは1972(昭和47)年に を締結し、国交を開いた。

またソ連とは1956(昭和31)年に日本の 首相とソ連のブルガーニン首相との間で が調印され、これによって日本の国際連合加盟が実現することになった。しかし今日にいたっても北方領土問題は解決しておらず、日ロ両国間での交渉が断続的に行われている。

さらにASEAN(東南アジア諸国連合)が1967(昭和42)年に結成された後、その加盟国がしだいに増加する一方で、日本は中国・韓国とともに「ASEAN+3」のメンバーとして、東南アジア各国との関係強化に努めている。

問1 下線部(ア)について、使節を率いて来航した人物はだれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A ラクスマン B ゴローウニン C レザノフ
D プウチャーチン E モリソン

問2 下線部(イ)に関して、間宮林蔵が樺太と沿海州が海峡で隔てられていることを発見したことから後にその海峡は間宮海峡と呼ばれることになる。この発見をヨーロッパに伝えたのはだれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 伊藤博文 B 井上馨 C シーボルト
D オールコック E パークス

問 3 下線部(ウ)に関して、1890(明治 23)年にこの主張をした人物はどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 青木周蔵 B 井上馨 C 大隈重信
D 山県有朋 E 黒田清隆

問 4 下線部(エ)に関して、この戦争の結果結ばれたポーツマス条約に関する以下の説明のうち誤りがあるものはどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 日本の国力が尽きはじめたことと、ロシア国内では革命運動が起こってきたことで、戦争継続が困難であるとしてフランクリン・ローズベルト米大統領が戦争終結を斡旋した。
B 北緯 50 度以南の樺太、南満州における利権、およびロシアが清国から得ていた旅順や大連の租借権などを日本はロシアから賠償として得た。
C 賠償金が得られないことを知った日本国民は全国で講和反対集会を開き、東京では内務大臣官邸襲撃などの事件が発生した。
D この条約締結に臨んだのは、日本側全権は小村寿太郎であり、ロシア側全権はウィッテ(ヴィッテ)であった。
E この条約に基づいて日本は沿海州・カムチャツカ漁業権を得て、かつて樺太千島交換条約で得ていた漁場と合わせて漁業域を拡大させた。

問 5 下線部(オ)に関して、この戦争の結果結ばれたヴェルサイユ条約で日本は旧ドイツ領である南洋諸島の委任統治権を得た。その統治に当たった機関はどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 東洋拓殖会社 B 南洋庁 C 商工省
D 南方開発公庫 E 軍需省

問 6 空欄 に入る適切な語句は何か。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 北朝鮮 B 韓 国 C インド
D ビルマ E インドネシア

問 7 下線部(カ)について、韓国側が主張した、日本との水域を分ける境界を何と呼ぶか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A ドッジ・ライン B 十七度線
C マッカーサー・ライン D 李承晩ライン
E 三十八度線

問 8 空欄 に入る語句は何か。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 日中関税協定 B LT 貿易協定 C 日中平和友好条約
D 日中共同声明 E 日中準政府間貿易協定

問 9 空欄 に入る人名はどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 三木武夫 B 吉田茂 C 岸信介
D 田中角栄 E 鳩山一郎

問10 空欄 に入る語句は何か。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 日ソ基本条約 B 日ソ共同宣言 C 国際連合憲章
D 日ソ中立条約 E 日ソ平和条約